

鍛造



●自動車用冷間鍛造部品の開発及び製造販売、その他冷間圧造・冷間鍛造部品の製造販売

株式会社飯塚製作所

▶TEL: 0745-22-3515 FAX: 0745-22-3516

▶URL: <http://www.iidzka.co.jp/>

ここが
スゴイ!

他社には真似できないノウハウで、 切削に頼らない冷間鍛造仕上による精密部品の製造

ヨーロッパでしか作れなかった自動車部品の国産化に取り組んできた。材料を熟知し、丸か棒状の金属の固まりを、冷間鍛造によって変形させる。他社では、冷間鍛造で加工し、切削で仕上げていく過程も、精度の高い特殊な金型を使用し、切削に頼らず最後までプレスで対応でき、効果的である。金型を内製することによって、会社の財産とも言える独自のノウハウを守ってきた。その技術は、精密特殊鍛造の領域まで達している。



▲練達の製造技術を駆使し、迅速適確量産で顧客ニーズに応えている。
▼さまざまな形状の自動車部品のプレス加工を主体に対応。

事業概要と躍進の契機

創業40年のモノづくりの歴史を背景に、高い技術力を維持

1964年、奈良県大和高田市で金属プレス加工業を開始。以後、業務を拡大しながら、地域社会に貢献する技術創造企業へと成長してきた。針工場（奈良市）を拠点に研究・開発を行い、各工場でモノづくりを行う。国内では鹿児島に工場を建設。製品の移送からコストまで顧客ニーズを考え、海外（中国）にも事業を拡大している。最新設備も導入し、量産体制に向けて準備は着々と進んでいる。

会社の強み・主力商品など

培ってきた開発技術力で、コスト削減から納期の短縮までフレキシブルに対応

シートベルト用金物に始まり、ステアリング、エアバックといった多種多様な自動車部品を開発・製造しており、それぞれの顧客の特長を反映した、異なるパーツの形状を自在に創り出すことが可能。事前の打合せにより、開発案件の相談にも迅速に対応しており、金型の設計・製作から鍛造・機械加工まで、一貫して取り組めるのが同社の強みになっている。

今後の事業展開

さまざまな材質を扱ってきた実績をバネに新分野開拓を目指す

現在は自動車部品の開発・製造が中心だが、かなり精密な加工が可能になってきたので、新分野への参入もスタートした。材料も鉄だけではなく、自動車で既に経験したステンレス、黄銅、アルミなどにも取り組みを始めている。精密なチタンの加工を必要とする医療分野や航空機部品の分野への進出が今後の課題となっている。

●企業プロフィール

〒635-0051 奈良県大和高田市根成柿 493

取締役社長 前田重雄

設立：1992年（平成4年）

従業員数：101名

資本金：2,000万円

企業メッセージ

創業以来、金型の設計・製作のすべてを、自社でまかなって参りました。独自のノウハウを蓄積し、顧客が安心して使用できる製品が提供できるよう、努めています。



代表取締役 前田重雄

■用語解説

冷間鍛造…常温の状態で、金属をハンマー等でたたいて圧力を加え、成形すること。